



日高ロータリークラブ WEEKLY

2023-2024 R.1テーマ
世界に希望を生み出そう

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場所	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	清水佳代子	幹事	和田貴弘	会報委員長 上野宗久

第1860回例会 2023年10月31日(火) 夜間移動例会

第1861回例会 2023年11月 7日(火) 通常例会

2023年11月28日発行 第1671号

『日高市民まつり ～お好み焼き試食・検討会～』

於：ガレージME ロードスター

出席報告	10月31日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	10/17修正率
	夜間	20	12	2	8	61.1%	100%

会長の時間 清水佳代子会長

皆様こんばんは。11月に入ったというのに、連日夏日になったりと、異常気象が続いております。この気候のせい、鬼の霍乱（おにのかくらん）でしょうか…日曜日から体調がすぐれません。ちなみに『鬼の霍乱』の『鬼』を調べますと、鬼のように無敵とされるものが、『霍乱』（暑気あたり等）に罹ることから、普段非常に丈夫な人が体調を崩すとたとえされております。角の生えた鬼ではありませんので、ご安心ください(笑)。今後は「風邪をひいたことが無い」だの「インフルエンザにかかったことが無い」などと、威張っていただけないと反省しております。そして先月31日は、町田秀雄会員の会社で日高市民祭りのお好み焼き講習会を開いて頂き、有難うございました。皆様の腕前にびっくり致しました！「なかなかやりますね！」と、安心した次第であります。毎回ですが、町田秀雄会員にはご家族総出でのご協力を頂いております事に、深く感謝しております。今週の土曜日曜と、お忙しいとは思いますが皆様一致団結して進めて頂くようお願い申し上げます。皆様も、このような安定しない気候ですので御自愛下さいませ。

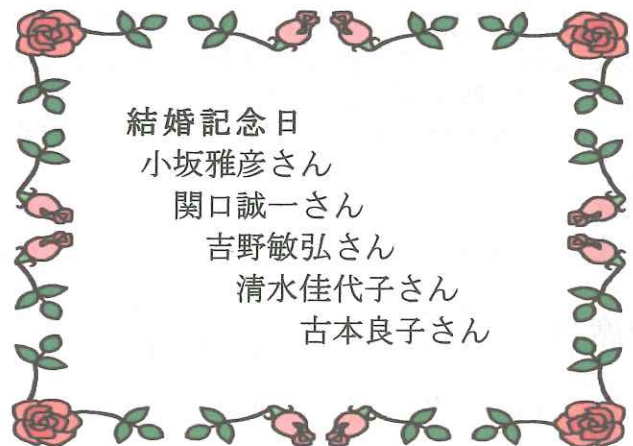


幹事報告 和田貴弘幹事

理事会報告(承認事項)

- ・年末家族会について
12月19日 於：いも膳(川越)
- 地区事務所より
・11月ロータリーレートのお知らせ 1\$ = 149円

結婚誕生祝 谷野秀之会員



結婚記念日

小坂雅彦さん
関口誠一さん
吉野敏弘さん
清水佳代子さん
古本良子さん

『ビッグモーター問題、真の被害者は誰か』



昨今、中古車販売大手ビッグモーターが、車検や板金業務で不正の限りを尽くしていたことが世間に知れ渡り大きな騒動となっております。最近は少し収まりましたが、その裏事情を少しだけお話しさせていただきます。実は「やっとなされたか…」というのが本音でして、以前から我々の業界内では「昔から悪い噂を聞いていた」「ここ数年、業績が大きく拡大していたので、現場は相当な無理をしていたはずだ」等々話題になっておりました。では、どういった事で叩かれたのか簡単に説明させていただきます。テレビ等で一番指摘されていたのは、『自賠責保険のからくり』ではないでしょうか。まず損保会社(損保ジャパン)は、事故を起こした保険契約者にビッグモーターを紹介し、車を同社の修理工場に誘導(入庫誘導)しておりました。損保会社がビッグモーターとの関係を断ち切れず、事故車の入庫誘導を続けたのは、大口保険代理店である同社から、より多くの自賠責保険契約を獲得することが目的だったからなのです。これまでの報道によると、事故車をビッグモーターに入庫すれば、自賠責の契約を損保会社に「何件渡しますよ」という取り決めがあったといいます。ビッグモーターは、修理による売り上げ、損保会社は自賠責契約を獲得できる…つまり、不正請求の被害の先には、お互い『自社にとってのメリット』があったということになるのです。被害者だけが置き去りにされ、「ふざけるな!」という話しですよ。こういった負のウィンウィンの関係が続いていた両者(損保ジャパンが独占状態)を羨ましいと感じた三井住友海上火災保険や東京海上日動火災保険なども「数字が欲しい」ということからビッグモーターに働きかけ、契約を次々に結んで行ったのがこの不正発覚の始まりでもあったのです。三井住友海上や東京海上は、ビッグモーターに仕事を出したものの「何かがおかしい…」と気付き仕事を止めました。それに伴い損保ジャパン側も内偵調査を始めました。ちなみにビッグモーターへは、損保ジャパンは勿論、三井住友海上火災保険と東京海上日動火災保険も出向者を出しておりました。三井住友海上は2017年度から修理部門へ、東京海上は2020年度から保険募集などを担う営業部門へ、それぞれ合計3人を出向させていたといいます。損害保険ジャパンに至っては、2011年から計37人の出向者を派遣していたそうです。それなのに、不正を発覚出来なかったのです。その後内部告発などもあり「やはりおかしい…」という事で、正式な監査機関が入り発覚に至りました。どんなに「おかしい」と感じていても、やはり組織の中核に入ってしまうと見えなくなってしまう(指摘できない)のが大問題であると改めて気付かされる事件でもありました。では、実際ビッグモーター側がどのような悪事を働いていたのか…。これは本当に酷い話しでした。皆様も御存知かと思いますが、ゴルフのドライバーで車体に傷をつけたり、ゴルフボールを靴下に入れて車を叩くなどの悪質な行為です。お客様の大切な車に…全く信じられませんよね!本来は少額で済む修理代のはずが、ビッグモーターへ預けてしまったばかりに酷いことになってしまう訳です。使わなくても良い保険を「使った方がいいですよ」という案内が入り、お客様は何も知らないで「それでは仕方ない…」となってしまうのです。保険の仕組みは、『顧客が保険を使えば修理費は保険金から賄われるが、保険料の割引率を定める等級が下がり、負担する保険料は増える』『保険を使わなければ修理費は自腹になるが、等級は維持される』というものです。一度保険を使用すれば、もとの等級に戻すのにかなりの保険料がアップする事になります。結局、何が行われていたのか真実を知らないお客様が一番の犠牲者になってしまうのです。具体的には、『実際には行われていない修理をあたかも行われたかのように請求』『修理が不要な部分についても修理を実施して請求』『両に故意に傷をつけて修理が必要な箇所を増やして、修理を実施して請求』このような不正請求が行われていたことが判明しています。この事件は、我々のような車を扱う業界の信頼低下が懸念される本当に迷惑な大事件となってしまいました。お客様が「ビッグモーターは氷山の一角なのではないか」と考えても何らおかしくはありません。今後は中古車販売、自動車修理業界全体として、健全化と信頼回復の取り組みが必須なことだけは確かではないでしょうか。

出席報告	11月7日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	10/24修正率
	夜間	20	15	2	5	72.2%	55.5%

ニコニコボックス報告 13名 合計金額 18,000円 累計金額 110,000円